

報 告

父親の抑うつと子どもの初期発達に関する文献研究

岐 部 智恵子

〔論文要旨〕

本研究の目的は、父親の抑うつと子どもの初期発達に関する先行研究のレビューを行い、今後の展望を得ることであった。近年の研究では、母親に加え父親の抑うつも家族に重要な影響を及ぼすことが示唆されている。本研究では、1980~2015年の国内外の文献を対象に系統的にレビューし、最終的に21件の論文を抽出した。父親にも周産期抑うつが認められ、母親の抑うつ、夫婦間葛藤、育児行動などに影響するとともに、子どもの言語発達や情緒・行動面の問題や適応問題を予測することが示された。子どもの発達理解においては、母親に加え父親のメンタルヘルスも視野に、周産期を含め継続した研究、支援をする必要性が示された。

Key words : 父親抑うつ, 子どもの初期発達, 文献研究

I. はじめに

1990年に発表されたレビュー論文“Children of Depressed Parents”¹⁾の中で、「親の抑うつ」研究の不均衡が指摘されてから四半世紀が経過した。母親の精神病理が子どもの発達に与える影響について検討が進む一方、父親についての研究は大きく立ち遅れていた。以来、研究対象としてアクセスの難しさが課題であった父親に対し、さまざまな手法で多くの研究が行われるようになり、知見が蓄積されてきている²⁻⁴⁾。このような中、近年報告が増え始め、注目を集めている父親の産後うつ研究の動向について竹原ら⁵⁾がレビューを発表したほか、海外では父親の周産期抑うつとその関連諸要因についてのレビュー⁶⁾、父親の周産期抑うつと母親の抑うつ⁷⁾の相互関連⁷⁾、父親の産後うつと母親の産後うつとの関連⁸⁾、父親の抑うつと養育行動⁹⁾、父親の抑うつと父子間の葛藤および子どもの精神病理¹⁰⁾などに関してそれぞれメタ分析も発表されてい

る。しかし、それら実証研究が扱う「子ども」の年齢は乳幼児期から青年期後期・成人期前期まで広範にわたり、子どもの発達段階に応じ系統だった知見が得られているとはいいがたい。Connellら¹¹⁾は抑うつ、物質依存や不安障害なども含めた父親と母親の精神疾患と子どもの発達の問題について134件の研究のメタ分析を発表し、2~18歳の子どもを幼児期(2~6歳)、児童期(6~13歳)、青年期(13歳~)に整理しているが、近年報告が増加している父親の周産期抑うつを含む子どもの初期発達については分析に含めていない。母親の抑うつが子どもの初期環境の中でリスク要因となることが指摘されている¹²⁾ように、父親の抑うつについても子どもの発達の早期からその影響を視野に先行研究の整理を行うことは、今後の臨床、発達研究や予防的支援、介入の検討などさまざまな領域に有意義な示唆を与えるものと考えられる。以上のことから、本研究では生涯発達の起点として重要な意味を持つ子どもの初期発達と父親の抑うつとの関連につい

A Literature Review on Paternal Depression and Early Child Development

[2777]

Chieko KIBE

受付 15.10.5

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科(研究職)

採用 16.2.28

別刷請求先: 岐部智恵子 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

Tel/Fax: 03-5978-5261

て、内外の先行研究をレビューし知見を整理するとともに、今後の展望について示唆を得ることを目的とする。

II. 方 法

先行研究レビュー

父親の抑うつと子どもの初期発達との関連・影響を検討するため、臨床レベルのうつ病から抑うつ傾向までを含めた父親の抑うつと乳幼児期（6歳まで）の子どもの発達を扱った先行研究を抽出する作業を行った。2015年5～8月にかけて文献検索を行い、先行研究のレビューに当たっては、データベース検索（EBSCO, SCOPUS, Springer Link, Wiley Online, PubMed, PsychSource, CiNii, Google Scholar）、並びに関連先行研究（メタ分析、レビュー論文）の文献リストを参照した。なお、データベース利用の際は次のキーワードのいずれかを含む組み合わせで1980～2015年までの間に刊行された英語と日本語による実証研究のレビューを行った：1）paternal, father(s), men(+ parenthood), 父親, 男性(+親)；2）depression；depressive symptoms, - disorders, psychopathology, 抑うつ, 抑うつ傾向, 精神病理；3）perinatal, antenatal, postnatal, postpartum, 産後, 周産期, 乳幼児。さらに、一次検索にて抽出された候補論文734件を図に示す手続きを経て絞り込み、最終的に21件がフルレビュー論文として選択された。

III. 結 果

父親の抑うつと子どもの初期発達について、実証データを含む21件の論文をレビューした結果を表に示す。日本の研究2件に加え、海外ではアメリカ10件、イギリス6件、オランダ2件、フィンランド1件の実証研究が抽出された。父親の抑うつの測定タイミングは、配偶者の妊娠12週から子どもが6歳の時期までさまざまであり、研究デザインとしては、実験観察計画が2件、横断研究が8件、縦断研究が11件であった。父親の抑うつと子どもの発達について報告され始めた1990年代には40前後の限られたサンプル数での実証報告であったが、近年は大規模縦断研究プロジェクトのサブサンプル10,000以上を対象とした実証報告もある。発表時期では、1990年代が2件、2000～2010年が11件、2010～2015年が8件であり、近年、研究が増加していることが確認された。

各研究については、研究デザイン、サンプル規模、父親の抑うつの測定タイミングなどアプローチは多様で、本領域が黎明期にあることがうかがえる。父親の抑うつに関しては、調査票と診断面接を組み合わせた評定や、母親の抑うつを測定する尺度を用いながら父親の周産期の抑うつのカットオフ値を操作し、臨床レベルの抑うつを評定するなど研究上の課題に対する工夫もみられる。なお、幼児期の父親の抑うつは、自己報告式の尺度による評定が主に行われていた。子どもの発達については父親、母親、教師、医師のほか、子ども自身に回答を求めている研究などさまざまであった。研究手法としては、実験室場面で乳児の連合学習¹³⁾や、父—母—子の三者相互作用¹⁴⁾を検討、また、横断的手法で発達の諸側面（e.g. 内在化型・外在化型問題傾向¹⁵⁻¹⁸⁾、情緒・行動面の問題傾向¹⁹⁻²¹⁾、言語発達¹⁷⁾）との関連が検討されていた。さらに、縦断的手法により妊娠期の父親の抑うつ傾向が胎児への愛着に及ぼす影響²²⁾、父親の抑うつが乳児の過度の泣き²³⁾、情緒・行動問題^{24,25)}、内在化・外在化問題²⁶⁻²⁸⁾などを予測すること、子どもの初期発達に影響する父親の家庭関与や養育^{29,30)}、夫婦間葛藤や配偶者の抑うつ^{25,28,30)}の媒介メカニズムについて検討が行われていた。また、少数ではあるが親からの子どもへの評定と第三者（教師）や子ども本人の評定の間に一致がみられなかった研究³¹⁾や、父親の抑うつと子どもの発達との間に有意な関連がみられなかったとする研究^{32,33)}もあった。

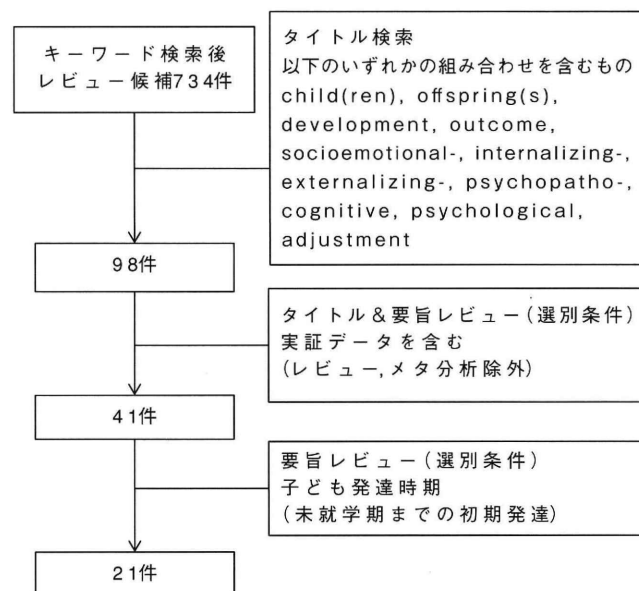


図 先行研究レビューの手続き
（レビュー実施時期：2015年5～8月）

表 レビュー論文の概要

著者	発表	N	子ども年齢	抑うつ尺度	子ども関連尺度	主な結果の概要
1 Kaplan, Sliter, Burgess ¹³⁾	2007	39	5～12.5 か月	BDI-II	乳児に対する父親の語りかけによる画面注視	父親の抑うつ傾向が高い場合、乳児に対する語り掛けは対照群と比較して連合学習を促進しない
2 福岡, 児玉, 金井 ¹⁴⁾	2014	10	1歳6か月	EPDS	CPICS	親の抑うつは母子相互作用のみ有意。父親は育児不安が低く、愛着得点が高い群では良好な父子相互作用
3 Marchand, Hock ¹⁵⁾	1998	46	4歳	CES-D	CBCL	母親の抑うつを統制しても父親の抑うつの高さは子どもの内在化型問題と関連
4 Cummings, Keller, Davies ¹⁶⁾	2005	235	5歳	CES-D	CBCL	夫婦間葛藤とパートナーとの愛着を媒介し子どもの内在化型問題と関連
5 Davé, Sherr, Senior, Nazareth ¹⁹⁾	2008	354	4～6歳	PHQ	SDQ	対照群と比較して、向社会性が低く、仲間関係や行為に関する問題が多い
6 Davé, Sherr, Senior, Nazareth ¹⁷⁾	2009	248	4～6歳	PHQ	専門機関受診	抑うつ傾向が高く、養育関与の高い父親の子どもは言語発達と外在化型問題に関する専門家への相談率が高い
7 Weinfield, Ingerski, Moreau ¹⁸⁾	2009	49	30か月	CES-D	CBCL	母親抑うつを統制後も父親の抑うつは子どもの外在化型問題を予測
8 Ramchandani et al. ²⁰⁾	2011	153	3か月	SCID, EPDS	IBQ	うつ病 (MDD) の父親をもつ乳児 (特に女兒) は、笑みが少ない (母親評定)
9 Jessee, Mangelsdorf, Shigeto, Wong ²¹⁾	2012	64	5歳	BDI	CBCL	子どもの気質と抑うつ交互作用。外向性の高い子どもは、父親の抑うつが高い場合、問題行動が多い
10 Luoma, Puura, Mäntymaa, Latva, Salmelin, Tamminen ³³⁾	2013	194	4～18か月	EPDS	ADBS	父親の抑うつの高さは乳児の社会的発達と有意な関連を示さなかった
11 Carro, Grant, Gotlib, Compas ²⁶⁾	1993	70	T1: 1か月 T2: 2～3歳	BDI	CBCL	父親の周産期抑うつは子どもが2～3歳時の内在化型、外在化型問題を予測。周産期の父親と母親の抑うつは子どもの内在化型問題に交互作用を持つ
12 DeKlyen, Biernbaum, Speltz, Greenberg ³²⁾	1998	38	T1: 4歳 T2: 5歳	BSI	CBCL, DISC	父親のストレスレベルが1年後の教師評定による子どもの問題行動の高さを予測。抑うつは有意な関連なし。抑うつは同時効果のみ
13 Ramchandani, Stein, Evans, O'Connor, ALSPAC Study Team ²⁴⁾	2005	13,351 (ALSPAC)	T1: 生後8週 T2: 21か月 T3: 3.5歳	EPDS	Rutter Preschool Scale	母親の抑うつを統制した後も父親の周産期抑うつは3.5歳時の情緒・行動面の問題傾向を有意に予測する
14 萩野, 他 ²²⁾	2006	53	T1: 妊娠中期 (12～20週) T2: 妊娠後期 (32～36週)	SDS, EPDS	AMAS, MFAS	妊娠中期の父親の抑うつレベルが高い場合、妊娠後期の父親から胎児への愛着および母親から胎児への愛着得点が高い
15 Gross, Shaw, Moilanen, Dishion, Wilson ²⁷⁾	2008	731 (Early Steps Multisite Study)	T1: 2歳 T2: 3歳 T3: 4歳	CES-D	CBCL	発達早期に経験する父親の抑うつの高さは、4歳時点での子どもの内在化問題に影響
16 Paulson, Keefe, Leiferman ²⁹⁾	2009	4,109 (ECLS-B)	T1: 9か月 T2: 24か月	CES-D	MCDI-SF	父親の周産期抑うつは生後9か月と24か月時点の子どもへの読書行動に関連し、言語発達を有意に予測
17 van den Berg, et al. ²³⁾	2009	4,426 (Generation R study)	T1: 妊娠20週 T2: 2か月	BSI	Wessel's criteria	母親の抑うつを統制後も父親の抑うつは乳児の過度な泣き (3日以上, 3時間継続) を予測
18 Hanington, Heron, Stein, Ramchandani ²⁵⁾	2012	14,541 (ALSPAC)	T1: 妊娠18週 T2: 8か月 T3: 3.5歳	EPDS	Rutter Preschool Scale	妊娠期の両親の抑うつはそれぞれ夫婦間葛藤と関連し、その後の夫婦の抑うつ、子どもの情緒・行動面の問題を予測
19 Fisher, Brock, O'Hara, Kopelman, Stuart ²⁸⁾	2015	199	T1: 4.5か月 T2: 45.5か月	IDD	CBCL	周産期の両親の抑うつは4歳時点の抑うつに相互に影響、夫婦間葛藤の媒介経路と抑うつからの直接経路で子どもの内在化型、外在化型問題を予測
20 Gutierrez-Galve, Stein, Hanington, Heron, Ramchandani ³⁰⁾	2015	13,822 (ALSPAC)	T1: 生後8週 T2: 3.5歳 T3: 7歳	EPDS	Rutter Preschool Scale, SDQ	周産期の父親の抑うつは、母親の抑うつ、夫婦間葛藤、父親の家庭関与の低さを媒介するとともに、直接的な経路で子どもの問題行動を予測
21 Ringoot, Tiemeier, Jaddoe, So, Hofman, Verhulst, Jansen ³¹⁾	2015	3,178 (Generation R study)	T1: 3歳 T2: 6歳	CIDI, BSI	CBCL, BPI	両親の抑うつ傾向が高い場合は親評定の子どもの発達評価にバイアスを与える可能性を示唆。第三者、子ども本人の認知による評定は異なる結果

Nは研究全体のサンプル家族数。ALSPAC (イギリス) ; Early Steps Multisite Study (アメリカ) ; ECLS-B (アメリカ) ; Generation R Study (オランダ) は大規模縦断研究プロジェクトのサブサンプルデータ。

研究 1, 2 : 実験的手法, 研究 3～10 : 横断的手法, 研究 11～21 : 縦断的手法

抑うつ尺度 : BDI-II: Beck Depression Inventory II (Beck, Steer, & Brown, 1996), CES-D: Center for Epidemiologic Studies Depression Scale (Radloff, 1977), PHQ: The Patient Health Questionnaire (Spitzer, Kroenke, & Williams, 1999), BDI: Beck Depression Inventory (Beck, Ward, Mendelson, Mock, & Erbaugh, 1961), EPDS: Edinburgh Postnatal Depression Scale (Cox, Holden, & Sagovsky, 1987), SCID: Structured Clinical Interview (Gorman, O'Hara, Figueiredo, et al., 2004), BSI: Brief Symptom Inventory (Derogatis & Spencer, 1982), SDS: Zung's Self Rating Depression Scale (Zung, 1965), IDD: Inventory to Diagnose Depression (Zimmerman & Coryell, 1987), CIDI: Composite International Diagnostic Interview (WHO, 1990) .

子ども尺度 : CPICS: Child-Parent's Interaction Coding System (Hedenbro & Liden, 2002), CBCL: Child Behavior Check List (Achenbach, 1991), SDQ: Strength and Difficulty Questionnaire (Goodman, 1997), IBQ: Infant Behavior Questionnaire-Revised (Gartstein & Rothbart, 2003), ADBS: Alarm Distress Baby Scale (Guedeney & Fermanian, 2001), DISC: Diagnostic Interview Schedule for Children (Fisher, Wicks, Piacentini, & Lapkin, 1992), RPS: Rutter Preschool Scale (Elander & Rutter, 1996), AMAS: Antenatal Maternal Attachment Scale (Honjo, 2003), MFAS: Maternal-Fetal Attachment Scale (Cranley, 1981), MCDI: MacArthur Communicative Development Inventory (Fenson et al., 1994), BPI: Berkley Puppet Interview (Ablow & Measelle, 2003) .

IV. 考 察

周産期から未就学期（6歳まで）に焦点を当てた父親の抑うつと子どもの発達に関する本レビューの結果から、子どもが0歳（10件）、3歳（7件）、4歳以降（8件）での実証研究が多いことが示され、父親の抑うつが子どもの発達の早期（胎児期）からリスク要因として検討されていることが確認された。抑うつの影響については、胎児への愛着²²⁾や乳児に対する評価³¹⁾、語り掛けや養育行動^{13,29)}など父親本人の情緒・認知・行動的側面に及ぼす影響に加え、子どもの情緒問題や行動的問題の増加^{24,25)}など発達への直接的関連も確認された。また、家庭関与の低さ³⁰⁾、夫婦間葛藤や配偶者の抑うつ^{25,28)}など、母親を介した間接的な経路で子どもの発達の諸側面に負の作用を及ぼす可能性も示された。これら初期発達への影響は、子どもの成長に伴いさまざまな要因との相互作用の中で学習や認知発達、学校への適応・不適応などに長期的影響を及ぼしてしまう可能性も否めない。子どもが中学生の時の父親の抑うつ傾向の高さが、成人期前期（21歳）になった子どもの不安・抑うつ傾向を予測するという縦断研究の知見³⁴⁾もあり、父親の抑うつが及ぼす長期的影響について子どもの初期発達から検討するなどの研究が望まれる。これまで、発達早期には父親より母親の方が子どもへの影響が大きいとされてきたが¹¹⁾、本研究では周産期という極めて早期から父親のメンタルヘルスが子どもの発達に影響を与えることが示唆された点は特筆すべきであろう。

一方、本レビューが示すように、父親の抑うつと子どもの発達との関連は比較的新しい研究テーマである。特に日本では父親が従来担ってきた稼働役割に加え、家庭役割への期待も増加しており⁵⁾、父親の精神的健康を職場のメンタルヘルスの文脈で議論することに加え、本人や家族に与える影響を家庭の文脈から検討していくことが重要であると考えられる。本邦でも父親のメンタルヘルスとその関連要因についての研究³⁵⁻³⁸⁾が増加し重要な知見が得られ始めているが、今後はその影響についても家族の文脈から検討していくことが必要であると考えられる。父親の抑うつを経験するタイミングや子どもの性別などにより影響差もあるのだろうか。精神疾患については世代間伝達の問題もはらむため、遺伝や環境要因を視野に入れた家族ダイナミクスやソーシャルサポートなどの関連要

因の解明に加え、病理の伝達メカニズムに関する研究も進めていくべきであろう。父親の抑うつは、症状を示した本人の問題にとどまらず家族や社会の文脈で検討すべき重要な課題である。

V. ま と め

本レビューから、父親の抑うつは、周産期から配偶者の精神的健康や夫婦関係への影響などを通して、子どもの初期発達に影響を与えることが確認された。これらの知見を踏まえ、配偶者の妊娠期から父親の精神的健康にも注意し、家族を包括的に支援していく必要性が示唆されたといえよう。今後は、家庭関与を促進し効果的な支援策を検討するためにも、研究デザイン、研究対象者や測定法など多様なアプローチを用いながら、父親の抑うつと家庭や子どもの発達に関する研究が急がれる。

利益相反に関する開示事項はありません。

文 献

- 1) Downey G, Coyne JC. Children of Depressed Parents : An Integrative Review. *Psychological Bulletin* 1990 ; 108 : 50-76.
- 2) Kane P, Garber J. Parental Depression and Child Externalizing and Internalizing Symptoms : Unique Effects of Fathers' Symptoms and Perceived Conflict as a Mediator. *Journal of Child and Family Studies* 2009 ; 18 : 465-472.
- 3) Weitzman M, Rosenthal DG, Liu YH. Paternal Depressive Symptoms and Child Behavioral or Emotional Problems in the United States. *Pediatrics* 2011 ; 128 : 1126-1134.
- 4) Elgar FJ, Mills RS, McGrath PJ, et al. Maternal and Paternal Depressive Symptoms and Child Maladjustment : The Mediating Role of Parental Behavior. *Journal of Abnormal Child Psychology* 2007 ; 35 : 943-955.
- 5) 竹原健二, 須藤茉衣子. 父親の産後うつ. *小児保健研究* 2012 ; 71 : 343-349.
- 6) Wee KY, Skouteris H, Pier C, et al. Correlates of Ante-and Postnatal Depression in Fathers : A Systematic Review. *Journal of Affective Disorders* 2011 ; 130 : 358-377.

- 7) Paulson JF, Bazemore SD. Prenatal and Postpartum Depression in Fathers and its Association with Maternal Depression : A Meta-Analysis. *Journal of American Medical Association* 2010 ; 303 : 1961-1969.
- 8) Goodman JH. Paternal Postpartum Depression, its Relationship to Maternal Postpartum Depression, and Implications for Family Health. *Journal of Advanced Nursing* 2004 ; 45 : 26-35.
- 9) Wilson S, Durbin CE. Effects of Paternal Depression on Fathers' Parenting Behaviors : A Meta-Analytic Review. *Clinical Psychology Review* 2010 ; 30 : 167-180.
- 10) Kane P, Garber J. The Relations among Depression in Fathers, Children's Psychopathology, and Father — Child Conflict : A Meta-Analysis. *Clinical Psychology Review* 2004 ; 24 : 339-360.
- 11) Connell AM, SH Goodman. The Association Between Psychopathology in Fathers Versus Mothers and Children's Internalizing and Externalizing Behavior Problems : A meta-analysis. *Psychological bulletin* 2002 ; 128 : 746-773.
- 12) 菅原ますみ. 養育者の精神的健康と子どものパーソナリティの発達 : 母親の抑うつに関して. *性格心理学研究* 1997 ; 5 : 38-55.
- 13) Kaplan PS, Sliter JK, Burgess AP. Infant-Directed Speech Produced by Fathers with Symptoms of Depression : Effects on Infant Associative Learning in a Conditioned-Attention Paradigm. *Infant Behavior and Development* 2007 ; 30 : 535-545.
- 14) 福岡明日香, 児玉由起子, 金井篤子. 1 歳半の子どもをもつ家族の父—母—子三者相互作用の検討 : 父母の抑うつの観点から. *小児の精神と神経* 2014 ; 53 : 381-394.
- 15) Marchand JF, Hock E. The Relation of Problem Behaviors in Preschool Children to Depressive Symptoms in Mothers and Fathers. *The Journal of Genetic Psychology* 1998 ; 159 : 353-366.
- 16) Cummings EM, Keller PS, Davies PT. Towards a Family Process Model of Maternal and Paternal Depressive Symptoms : Exploring Multiple Relations with Child and Family Functioning. *Journal of Child Psychology and Psychiatry* 2005 ; 46 : 479-489.
- 17) Davé S, Sherr L, Senior R, et al. Major Paternal Depression and Child Consultation for Developmental and Behavioural Problems. *British Journal of General Practice* 2009 ; 59 : 180-185.
- 18) Weinfield NS, Ingerski L, Moreau SC. Maternal and Paternal Depressive Symptoms as Predictors of Toddler Adjustment. *Journal of Child and Family Studies* 2009 ; 18 : 39-47.
- 19) Davé S, Sherr L, Senior R, et al. Associations between Paternal Depression and Behaviour Problems in Children of 4~6 years. *European Child & Adolescent Psychiatry* 2008 ; 17 : 306-315.
- 20) Ramchandani PG, Psychogiou L, Vlachos H, et al. Paternal Depression : An Examination of Its Links with Father, Child and Family Functioning in the Postnatal Period. *Depression and Anxiety* 2011 ; 28 : 471-477.
- 21) Jessee A, Mangelsdorf SC, Shigeto A, et al. Temperament as a Moderator of the Effects of Parental Depressive Symptoms on Child Behavior Problems. *Social Development* 2012 ; 21 : 610-627.
- 22) 萩野聡子, 村瀬聡美, 金子一史, 他. 妊娠期における父親・母親の抑うつ傾向と胎児への愛着との関連. *児童青年精神医学とその近接領域* 2006 ; 47 : 29-37.
- 23) van den Berg MP, van der Ende J, Crijnen AA, et al. Paternal Depressive Symptoms During Pregnancy are Related to Excessive Infant Crying. *Pediatrics* 2009 ; 124 : 96-103.
- 24) Ramchandani P, Stein A, Evans J, et al. Paternal Depression in the Postnatal Period and Child Development : A Prospective Population Study. *The Lancet* 2005 ; 365 : 2201-2205.
- 25) Hanington L, Heron J, Stein A, et al. Parental Depression and Child Outcomes—Is Marital Conflict the Missing Link ?. *Child : Care, Health and Development* 2012 ; 38 : 520-529.
- 26) Carro MG, Grant KE, Gotlib IH, et al. Postpartum Depression and Child Development : An Investigation of Mothers and Fathers as Sources of Risk and Resilience. *Development and Psychopathology* 1993 ; 5 : 567-579.
- 27) Gross HE, Shaw DS, Moilanen KL, et al. Recipro-

- cal Models of Child Behavior and Depressive Symptoms in Mothers and Fathers in a Sample of Children at Risk for Early Conduct Problems. *Journal of Family Psychology* 2008 ; 22 : 742-751.
- 28) Fisher SD, Brock RL, O'Hara MW, et al. Longitudinal Contribution of Maternal and Paternal Depression to Toddler Behaviors : Interparental Conflict and Later Depression as Mediators. *Couple and Family Psychology : Research and Practice* 2015 ; 4 : 61-73.
- 29) Paulson JF, Keefe HA, Leiferman JA. Early Parental Depression and Child Language Development. *Journal of Child Psychology and Psychiatry* 2009 ; 50 : 254-262.
- 30) Gutierrez-Galve L, Stein A, Hanington L, et al. Paternal Depression in the Postnatal Period and Child Development : Mediators and Moderators. *Pediatrics* 2015 ; 135 : 339-347.
- 31) Ringoot AP, Tiemeier H, Jaddoe VW, et al. Parental Depression and Child Well-Being : Young Children's Self-Reports Helped Addressing Biases in Parent Reports. *Journal of Clinical Epidemiology* 2015 ; 68 : 928-938.
- 32) DeKlyen M, Biernbaum MA, Speltz ML, et al. Fathers and Preschool Behavior Problems. *Developmental Psychology* 1998 ; 34 : 264-275.
- 33) Luoma I, Puura K, Mäntymaa M, et al. Fathers' Postnatal Depressive and Anxiety Symptoms : An exploration of Links with Paternal, Maternal, Infant and Family Factors. *Nordic Journal of Psychiatry* 2013 ; 67 : 407-413.
- 34) Reeb BT, Wu EY, Martin MJ, et al. Long-Term Effects of Fathers' Depressed Mood on Youth Internalizing Symptoms in Early Adulthood. *Journal of Research on Adolescence* 2015 ; 25 : 151-162.
- 35) 岡本絹子. 1歳6か月児を持つ父親の抑うつ症状と関連要因. *小児保健研究* 2005 ; 64 : 560-569.
- 36) 福丸由佳. 父親の仕事と家庭の多重役割と抑うつ度—妻の就業の有無による比較. *家族心理学研究* 2003 ; 17 : 97-110.
- 37) 小林佐知子, 小山里織. 乳児期における父親の抑うつ傾向と関連要因. *児童青年精神医学とその近接領域* 2014 ; 55 : 189-196.
- 38) Nishimura A, Fujita Y, Katsuta M, et al. Paternal Postnatal Depression in Japan : an Investigation of Correlated Factors Including Relationship with a Partner. *BMC Pregnancy and Childbirth* 2015 ; 15 : 128-135.

[Summary]

This study reviewed previous studies examining the association between paternal depression and early childhood development. In accordance with developmental analysis, parental psychological health was found to serve as an environmental antecedent for later child adjustment. Recent research findings have revealed the significant role of paternal depression in family functioning. A systematic review was conducted by deploying a database and reference search that carefully selected 21 relevant articles. The review suggested that paternal depression associates with spousal depression, marital conflicts, and parenting behavior. Moreover, children of depressed fathers tend to exhibit developmental difficulties in various domains (for e. g., socioemotional, cognitive, and behavioural) at early developmental stages even after maternal depression has been accounted for. These findings suggest a need for understanding the child's developmental trajectories in relation to paternal psychopathology and considering paternal mental health so as to develop effective support for paternal parenting engagement.

[Key words]

paternal depression, early child development, literature review